

【その他】

【意見交換会】

訪日クルーズ旅行の促進に向けた取組

① Seatrade Cruise Asia Pacific / ② 上海クルーズセミナー（中国）

実施日： 令和元年10月10日（①）、14日（②）

場 所： Delta Hotels by Marriott Shanghai Baoshan（①）

在上海総領事館多目的ホール、総領事公邸（②）

主催（共催）： 上海市文化和旅游局、交通委員会、宝山区人民政府、上海工程

技術大学（共催：Seatrade）（①）

在上海総領事館、国土交通省港灣局、みなと総合研究所（②）

在上海総領事館

【概要】

- 本年6月のG20大阪サミットの機会に行われた日中首脳会談において、第三国協力、観光交流等の潜在力のある分野における互恵的な協力や相互交流人口1,500万人に向けて努力していくことで日中双方一致している。
- 観光立国の実現に向けて、中国からの訪日旅行促進は訪日旅客数、旅行消費額を確保する観点から極めて重要であり、その中でもクルーズでの訪日旅行は大きなウェイトを占めている一方で、2017年をピークに中国クルーズ市場は停滞し、現在調整期を迎えている。そのような状況を打開すべく、以下①、②の取組を実施。
- ①について：国際クルーズ会議「Seatrade Cruise Asia Pacific」にて、アジアのクルーズ旅行で最大の受入国である日本のプレゼンスを示しつつ、当該調整期を乗り切るための日中協力及び第三国協力に資する欧米市場を対象としたフライ&クルーズの呼びかけを行った。
- ②について：訪日クルーズ旅行商品を販売し、訪日クルーズ市場の中核的な役割を担う当地旅行会社との意見交換会を実施。意見交換会では、日中クルーズ旅行関係者のネットワーク構築に加え、中国クルーズ業界が抱える問題意識を共有し、調整期をバネとした2020年以降の更なるクルーズ旅行促進に向けた議論を行った。また、当地旅行会社との意見交換会とは別に、フライ&クルーズ等をテーマとして大手クルーズ3社幹部を公邸へ招き、国土交通省港灣局、みなと総合研究所と意見交換会を実施。クルーズを多く受け入れている日本の受入環境整備に謝辞を受け、また今後の日中間のクルーズ旅行促進のために期待されることなどについて議論した。



▲ Seatrade Cruise Asia Pacific ①



▲ 上海クルーズセミナー②